

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 1 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	林 隆 寿	1 農業振興対策について	<p>(1) 与論町農業及び関連産業ビジョン策定業務報告書の中で、さとうきび・園芸・畜産の生産目標を実現するための課題と対策については分析がなされているが、具体的にどう推進していく考えであるか。</p> <p>(2) 報告書の中に、根本的（共通）な対策の1つとして、多様な若い生産者からなる委員会メンバーを母体とした部会を横断する活動組織を立ち上げ、定期的に会議を開き、今後の与論農業を考える場をつくるとあり、その必要性が痛感されるが、これまでどのように取り組み、具体的支援策をどう講じていく考えであるか。</p> <p>(3) 本町の地産地消活動としては、生活研究グループが運営する「まごころ市」とJA女性部が運営する「みのり市」のほか、個々の農家でも野菜の自給生産を行っている。高齢者が農業に従事する環境の整備にもつながることから、その拡充と一層の定着を図る必要があると痛感されるが、今後これをどのように支援していく考えであるか。</p>	町 長 町 長 町 長
		2 観光再生対策について	<p>(1) 観光業の一環として農村観光を推進するため、農家民泊について調査研究がなされたと思うが、今後の可能性をどのように認識し、担当課をどこに定めて、具体的対策をどう講じていく考えであるか。</p>	町 長
2	町 俊 策	1 観光振興対策について	<p>(1) 施政方針の中で誘客対策として、復帰60周年・町制施行50周年・パナウル王国建国30周年等の記念大会や昨年の台風災害からの復興をアピールするイベント等を実施するとあるが、具体的な内容をどう考えているか。</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 1 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	町 俊 策	1 観 光 振 興 対 策 に つ い て	<p>(2) 航空会社や船会社と緊密に連携して、年代層別のモニターツアーを実施するほか、全国各地の旅行会社員を対象としたモニターツアーを実施して、商品構成を共に企画するなど、旅行会社の店頭の本町の観光パンフレットを置いてもらえるよう取り組んでいく考えはないか。</p> <p>(3) 町内の宿泊施設がそれぞれに、例えば、ダイビング、ウインドサーフィン、釣りなど、得意とする受入れ・案内商品をもつことで個性化を図り、アピールに努める体制づくりを指導していく考えはないか。</p> <p>(4) 観光協会及び宿泊施設に対し、悪天候時に受入れ・対応のできるイベント開催を企画し協働して取り組むよう指導していく考えはないか。</p>	町 長 町 長 町 長
3	喜 山 康 三	1 地 域 防 災 対 策 に つ い て	<p>(1) 広域事務組合に対する国の財政支援措置は平成 2 1 年度からメリットがなくなったことから、沖永良部・与論地区広域事務組合で行っている消防救急業務を分離独立させて、本町単独で消防署を設置しデジタル無線も整備した方が、地域防災及び財政負担上は合理的でありメリットもあると痛感されるが、町長はどう考えているか。</p> <p>(2) 防波堤及びテトラポットだけに頼る今までの海浜防災や減災事業の在り方を改め、海浜や海浜植生帯の養成等による自然の防災機能の復元、道路付け替え等を含む総合的な視点での防災対策事業を計画・推進していく考えはないか。</p>	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 1 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3	喜 山 康 三	2 職員の給与・勤務条件及び処遇改善について	<p>(1) 本町職員のラスパイレス指数はどのような実情にあり、郡内町村の指数及びランクはどうなっているか。また、本町の現状をどのように認識し、今後の在り方をどう考えているか。</p> <p>(2) 管理職手当、時間外勤務手当の支給率等の実態及び時間外勤務・休日勤務はどのような実情にあるか。また、今後の見通しはどうか。</p> <p>(3) 臨時職員の割合が55%を超え重要な戦力となっている中で、能力や経験等においても正職員に勝るとも劣らない者が相当いる。臨時職員の雇用環境は様々な意味で不安定なことから、職員間の協力・信頼関係を一層醸成するためには、何らかの臨時職員の処遇改善等を行ってその安定を図る必要があると痛感されるが、対策をどう考えているか。</p>	町 長 町 長 町 長
		3 平成25年度の事業について	(1) 平成25年度の最優先事業は何か、振興計画との整合性をどのように図っているか。	町 長
4	麓 才 良	1 人づくりについて	<p>(1) 学芸員資格を有する専門職員を採用・配置して、町内各地域の発掘調査等を行えば島興しにも波及効果をもたらすと期待されるが、町長はどう考えているか。</p> <p>(2) 三つ子の魂百までといわれるように幼児教育は重要であることから、島ぐるみで子育てに取り組む施策の一環として、子ども園等において高齢者との日常的な触れ合いを実現するため、協議の場を設け検討していく考えはないか。</p> <p>(3) 花いっぱい活動はパナウル王国の理念でもあることから、子ども会、女性団体、老人クラブなど、地域で</p>	町 長 教 育 委 員 長 町 長 教 育 委 員 長 町 長 教 育 委 員 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 1 回 定 例 会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	麓 才 良	1 人づくりについて	一体となって取り組むことが望まれるが、その具体策等を検討するため、協議の場を設ける考えはないか。	
5	供 利 泰 伸	1 農業農村整備事業について	(1) 各地区の面工事については、現在進行中の岸元地区を除き、換地処分登記は完了していると思われるが、増減分の精算の進捗状況はどうなっているか。	町 長
		2 観光の振興対策について	(1) 町総合振興計画によると受入れ対策として、癒し型の探索ツアー等の新旅行商品を造成するとともに、沖縄ツアー商品と現地ツーリズム商品の複合型プランの造成等を図るとあるが、具体的にはどう考えているか。 (2) 町総合振興計画では、各種スポーツ大会や合宿等を誘致しているが、スポーツ施設の整備も大会の開催や冬場の合宿誘致も遅れているように思われる。計画を推進するため、今後どう取り組んでいく考えであるか。	町 長 町 長
6	高 田 豊 繁	1 新庁舎の建設対策について	(1) 現庁舎の老朽化に伴う新庁舎建設検討委員会の設置時期は、どう計画しているか。 (2) 庁舎を移転することとなる場合は、特に、現庁舎周辺一帯で経済の空洞化が起きないように地域の経済活性化対策を並行して計画し、実施していく必要があると痛感されるが、どう考えているか。	町 長 町 長
		2 さとうきび振興対策について	(1) 平成 2 5 年度の新植苗穂については、その確保のめどはついているか。 (2) さとうきびの被害救済対策である農業共済加入率が、本町の場合は特に低いと指摘されているが、今後の加入促進対策として、自動継続加入を条件に町が期限付きの助成策を講じる考えはないか。	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 1 回 定 例 会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	高 田 豊 繁	2 さとうきび振興対策について	(3) 生産地として安定的な発展を遂げるためには、農家、製糖会社、工場、J A等が一体となって、生産性の向上対策や経営の合理化対策に協調・連携して取り組むことが重要であると痛感されるが、与論島製糖株式会社に対して、本町内への本社移転を要望する考えはないか。	町 長
7	林 敏 治	1 環境プロジェクトの推進策について	(1) パナウル王国を宣言している本町においては、花と緑のまちづくりを推進するとともに、さんご礁を再生・保存していくことが極めて肝要であると痛感されるが、具体的対策をどう推進しているか。	町 長
		2 人づくりプロジェクトの推進策について	(1) 働く意欲と能力をもった高齢者の生きがいづくりと健康づくりのため、シルバー人材センターの設立については今後どう推進していく考えであるか。	町 長